



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン：米国とEUによる原油禁輸の影響

湾岸地域の経済・金融・エネルギー問題専門家 中嶋 猪久生

米国とEUによる全面制裁が始まった

核開発をエスカレートするイランに対し原油の輸出を困難にして、核開発の資金源を断つことを狙いとする米国のイラン制裁法が6月28日発効した。米国が必要と判断すれば、イラン中央銀行と取引をする外国の金融機関に制裁を科するという内容である。また、7月1日から欧州連合(EU)も、イラン産原油の全面禁輸を実施し、これまで以上にイラン包囲網が強まることになる。

イラン産原油にスポットをあてて、この数ヶ月に及ぶ各国のオイル・ポリティックスの動向を報告する。

● イラン

- ・ 原油生産量が制裁の影響で大きく減少している。2011年には360万b/dであった生産量が、直近の2012年6月には296万b/dとなり、過去20年間で最低の水準に落ち込んだ。7月以降の米国とEUの制裁発動により、生産量は270万b/d前後に減少するとの見方も出てきている。
- ・ 減産の理由は、以下の通り；
  - ① 油田の老朽化による自然減。
  - ② 制裁により生産設備への投資資金や技術を投入できないこと。
  - ③ 新規開発油田の生産が、計画に比べ大幅に遅延、特に、ヤーダーヴァラーン（中国 Sinopec）、アーザーデガーン（中国 CNPC）、ダルクワイン油田（伊国 Eni はフェーズ3 開発から撤退）などの油田開発に遅延が目立つこと。
- ・ 生産量から国内需要分を除いた輸出原油も制裁の影響で大きく減少している。2011年以降の輸出原油の推移をみると、このまま制裁が実施されれば、2011年の220万b/dから100万b/d前後に減少するとみられている。

2012年以降、直近までの推移（推定も含む）は次の通り。

2011年：220万b/d

2012年1月：200万b/d

2012年2月：180万b/d

2012年3月：160万b/d

2012年4月：160万b/d

2012年5月：150～160万b/d

2012年6月：120～130万b/d

2012年7月：最大110万b/d

- ・ 陸上及び沖合の原油貯蔵施設（タンカー）の貯蔵量は約3,300万バーレルで満タンに近づきつつある。4月にはイランが保有するタンカー（大小併せて約44隻）の約半分は原油貯蔵用に充てられていた。7月には、6月の倍の830万バーレルが積み増しとなる。
- ・ 貯蔵量が増加するにつれて、イランはアジアの顧客（中国、インド、韓国など）へ自国のタンカーでの引渡しを早めている。7月の場合、アジアの主要バイヤーに89万b/dの販売をするのではないかとみられているが、この量は前年同月148万b/dに比べると40%の減少。
- ・ 7月以降はEUの全面禁輸、アジア諸国による輸入量の減少や制裁による売れ残り分（6/10付のGulf Newsは売れ残って行き場のない原油を“ホームレス・オイル”と呼んでいる）の値引き販売、また、EU域内の保険会社によるタンカーの保険、再保険の付保禁止により100万バーレル程度の減少が想定される。その結果、石油収入も2011年度（2011/4～2012/3）の1,000～1,100億ドルから2012年度は450～500億ドルとほぼ半分近くに落ち込むとみられている。

## ● サウジアラビア

4月にはサウジの生産量は30年ぶりに約1,000万b/dに引き上げられた。ナイーミー石油鉱物資源相はこれまで、イラン産原油の禁輸分の代替生産をサウジが行うとは公式には語らず、「サウジの生産量が増えているのは市場のニーズによるもので、必要ならサウジが供給する」と述べている。他方、2011年10月頃から、サウジの有力王族（トゥルキー元駐英・駐米大使など）からはoil weapon against Iran（イランに石油を武器として行使する）という発言が出てきている。

	OPEC 原油生産量 (2011/10～2012/5)				単位：100万b/d				
	2011/10	11	12	2012/1	2	3	4	5	
イラン	3.57	3.55	3.52	3.50	3.46	3.35	3.35	3.32	
サウジ	9.50	10.1	9.80	9.75	9.80	9.85	9.95	9.80	
クウェイト	2.65	2.77	2.80	2.83	2.90	2.88	2.90	2.90	
UAE	2.45	2.49	2.50	2.54	2.50	2.50	2.54	2.52	
イラク	2.78	2.84	2.85	2.77	2.70	2.89	3.09	3.05	
リビア	0.37	0.60	0.83	1.10	1.32	1.40	1.48	1.50	
OPEC 合計	29.95	31.09	31.00	31.17	31.50	31.56	32.08	31.86	

出典：2012/6/18付MEESより筆者作成

サウジが増産体制に入ったのは、2011年11月、米・EUによる制裁強化が打ち出されて以

降のことである。サウジに続き、クウェイトやUAEも追随している。このため、6月のOPEC会合の席上で、原油価格の高止まりを望むイランが増産したこれら3国を激しく非難する一幕もあった。増産体制に入っているのはこれら3国だけでなく、リビアやイラクの復旧・復興に伴う増産も目立つ。

## ● 中国

これまで通りイラン産原油の輸入を続ける最大輸入国の中国に対し、米国は「輸入を大幅に削減した」として、6月28日、制裁法の発効直前、180日間は制裁法の適用対象から除外した。米中間でギリギリまで交渉が行われたとみられるが、2012年1~3月の輸入量(34.6万b/d)が前年同期比の三分の一に減少したことを、米国が評価したことが理由のようである。

しかし、中国による1~3月の減少の要因は、イラン制裁のためではなく、年間購入契約の価格割引や支払条件をめぐる交渉が長引き、中国がイラン産原油の輸入を控えていたからであった。この交渉が4月上旬にずれ込み、中国に有利な形で最終結着した。同盟国であっても、相手の不幸につけ込むビジネスの手法は、さすが中国というべきであろうか。その支払い条件とは次の4点である。

- ① 価格は20~30%の割引。
- ② 中国による輸入代金の支払いは船積後90~120日以内、イラン側は60日を主張したとされる。
- ③ 輸入代金は上限を50%として、人民元で中国の複数の国有商業銀行の特別勘定に預託される。
- ④ 残り50%はイランによる中国商品の輸入決済用資金に充当される。

6月28日、除外された国は20カ国。米国は、政治・経済的理由により制裁の適用対象から中国を除外したが、その取扱振りに米国の同盟国からは「二重基準だ。輸入を削減しようとする中国の制裁破りを許すな」という不満の声が高まっている。

米国のイラン制裁法が完全に発動されれば、イラン産原油の輸入する国有企業Unipecc(Sinopecの子会社)と珠海振戎に融資する中国の4大銀行(いずれも米国に営業拠点を持つ)は、米国金融市場から締め出されることになる。

イランと中国との間には、新たな問題が生じている。タンカーの傭船(現在はイランのタンカー)と運送料、船舶損害保険、貨物(原油)に関わる保険・再保険料金をどちらが負担するのか、という問題で、中国はこれらの支払いを拒否しているため、イラン産原油の中国向け輸出問題は全てが決着しているわけではない。そのため、実際の輸出量はもっと少なくなるのではないかと懸念されている。7月の輸入量は上限49.2万b/dと想定されている。イラン原油の前年比減少分はサウジからの輸入増(2012年5月は前年比12.4%増加して103万b/d)により多く

がカバーされている。

注：中国によるイラン産原油の輸入

2011/12； 55.0 万 b/d

2011 年通期； 55.7 万 b/d

2012/1； 27.5 万 b/d

2012/2； n. a.

2012/3； 25.4 万 b/d

2012/4； 38.8 万 b/d

2012/5； 52.2 万 b/d

2012/6； 調査中

2012/7； 49.28 万 b/d（上限）

イラン産輸出原油全体の 22%。総輸入量に占めるイラン産原油の割合は 11%。

契約交渉開始。中国スーパータンカーを手配。イラン NITC のタンカー 2 隻が中国へ出航。

前年同月比 20%減、2012/1-2 39.5 万 b/d（前年同期比 21%減）。

2012/1-3； 34.6 万 b/d（前年同期比の 1/3）。

契約交渉妥結。

Sinopec 傘下の Unipet 及び珠海振戎が購入。

前年同月比 2.3%減。2012/1-5 は 39.0 万 b/d（前年同期比 25%減少）。

## ● 韓 国

韓国によるイラン産原油の輸入は、2012 年 1～6 月、18.1 万 b/d で前年同期比 24%の減少。同国は制裁適用の免責を受けることにはなったが、当局は、6 月 26 日、声明を発表し、イラン産原油の輸入を 7 月 1 日から停止することを明らかにした。EU によるイラン産原油輸送タンカーへの保険引受禁止措置を受けた決定だとしている。

韓国の場合、イラン産原油の輸入停止について、その分はイラク、クウェイト、カタール、UAE など他の産油国からの輸入やスポット買いに既に切り替えていると語っている。

同国の決定を受けて、イランは、イランのタンカーを韓国に振り向ける、との提案を行った。同時に、韓国がこのままイラン産原油を輸入停止するなら、韓国からの輸出を全面停止する措置をとる、とイランは脅かしている。韓国はイランの保険会社（Kish P&I）がイランの手配するタンカーに 10 億ドルの保険をかけるとの申し出を受ける方向で検討に入った。韓国からイランへの輸出（鉄鋼、自動車、エレクトロニクス製品など）は 2009 年 40 億ドル、2010 年 46 億ドル、2011 年 60 億ドル、2012 年 1 月～5 月前年同期比 40.5%増加し、29 億ドルに達している。イラン向け輸出が停止することになれば、イラン・ビジネスに関与する韓国の中小企業約 2,700 社に及ぼす影響は大きい。

---

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799